

event news

2015年2月イベントのお知らせ

- 「構造見学会（廿日市市原・佐伯区三宅）」
- 「初めての家づくり教室（ハツイエセミナー）」
- 「住まい手さんの家見学会（佐伯区観音台）」
- 「定期点検（佐伯区・東区・南区・中区）」
- 「完成見学会（中区千田町）」
- の6つを開催します。

真冬のデシカ
体感会

『構造見学会』

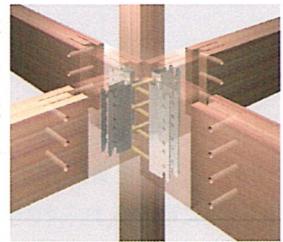
■開催日：2月1日（日）

■開催時間：午前10時～午後3時

■場所：廿日市市原

■事前にご予約をお願い致します。

「決める前に必ず見ておこう。」
家は何十年も暮らすことになる家族の基盤です。エヌテックが家づくりで最も重要な事を考へている事は、「地震にも耐える構造の確かさ」です。今回見学会を開催する建物では「クレテック」という金物工法を採用しました。従来の木造軸組構法に見られた仕口による木材の欠損が少ない事が特徴です。



『住まい手さんの家見学会』

■開催日：2月11日（水）

■開催時間：午前10時～午後3時

■場所：佐伯区観音台

■事前にご予約をお願い致します。

この度の「住まい手さんの家」見学会は「湿度の調節」に挑戦するため「デシカ」という設備を導入したお住まいです。デシカは、家全体の湿度調整と換気を一年中行うことによって、各部屋の湿度と空気質を常に心地よい状態に近づけることが可能です。

2014年5月に完成し、その年の夏と現在の冬を過ごされた感想も聞くことができる貴重な見学会です。皆様のご参加をお待ちしております。



『SE構法 構造見学会』

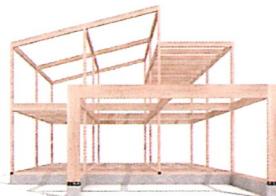
■開催日：2月8日（日）

■開催時間：午前10時～午後3時

■場所：佐伯区三宅

■事前にご予約をお願い致します。

構造の確かさを満たした上で、パッシブデザインにより発揮させるために最適なSE構法。鉄骨造やRC造、大規模建築物と同じ手法で構造計算されるSE構法は、在来工法が必要となる耐力壁の数が大幅に低減できます。当時は、SE構法を紹介する映像や実物大のカットモデルも展示致しました。是非ご参加ください。



*SE構法のイメージです。

『初めての家づくり教室』

■開催日：2月15日（日）

■開催時間：午後2時～午後4時

■場所：Gallery様（エヌテック事務所隣）

■事前にご予約をお願い致します。

建てたい家はどんな家ですか？家づくりを始める前に、知っておくべき大切な情報を伝え致します。また、家づくりで気になるご質問にもしっかりとお答えします。まずは一度、お気軽にご参加下さいませ。毎月恒例のハツイエセミナー。今月は残り一組様となっております。

【イベントへのご参加方法】

事前のご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。

- ・エヌテックホームページのフォーム（URL <http://www.ntecj.co.jp/>）
- ・エヌテック代表メール（info@ntecj.co.jp）
- ・エヌテックへのお電話（082-509-5771）

担当：佛崎（ぶつざき）・谷口まで

月	火	水	木	金	土	日
26	27	28	29	30	31	1
					構造見学会 (廿日市市原)	
2	3	4	5	6	7	8
					構造見学会 (佐伯区三宅)	
9	10	11	住まい手様 見学会	12	13	14
					ハツイエ セミナー	
16	17	18	19	20	21	完成見学会 (中区千田町)
					完成見学会 (中区千田町)	
23	24	25	26	27	28	定期点検 (安芸区・東区・南区・中区)
						1

超快適 &ゼロエネ研究所 通信

vol.24
FEB.
2015

株式会社エヌテック

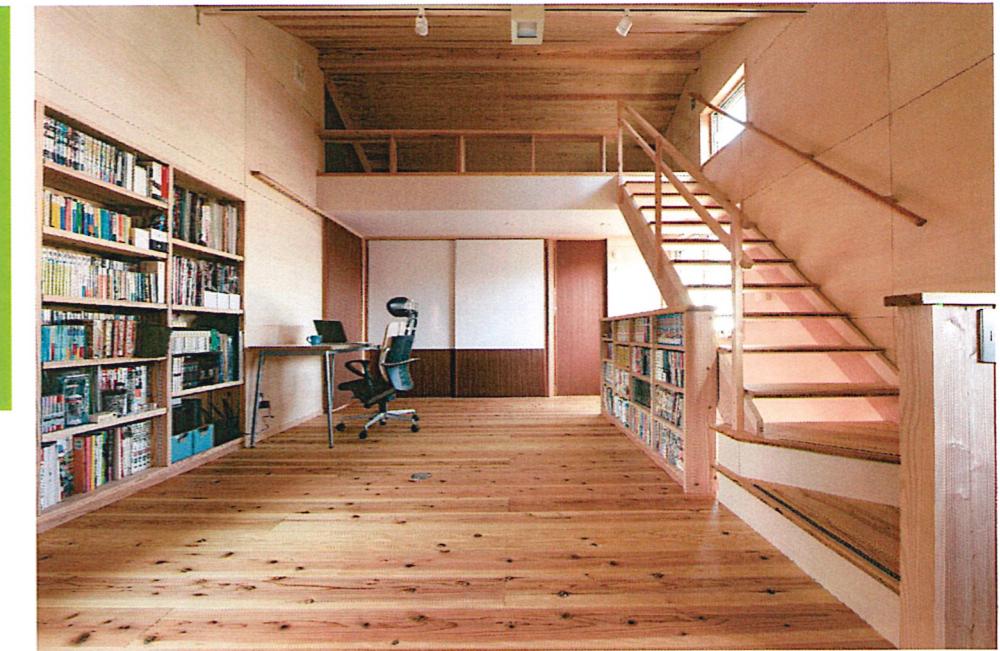
〒733-0007

広島市西区大宮 2-13-7

TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772

E-mail:info@ntecj.co.jp

HP:<http://www.ntecj.co.jp>



「省エネ住宅ポイント」が発表されました。

省エネ住宅に関するポイント制度が国土交通省より発表されました。

概要としまして、新築の木造住宅の場合は「一次エネルギー消費量」「断熱等性能」「省エネルギー対策」のいずれかで等級4の性能を有する住宅に対して、300,000ポイントが発行されます。エヌテックの新築住宅は標準仕様で等級4を確保しております。

エコリフォームの場合は「窓の断熱改修」「外壁、屋根・天井又は床の断熱改修」「設備工コ改修」などを行う工事に対して、その規模に応じて決められたポイントが発行され、最大300,000ポイント（耐震改修を行う場合は450,000ポイント）が発行されます。

エコリフォームの対象工事

1



1箇所あたりのポイント数 × 施工箇所数のポイント数を発行

内窓設置・外窓交換

	面積 ^{※2}	窓1枚あたりの ポイント数
大	2.8m ² 以上	20,000ポイント
中	1.6m ² 以上 2.8m ² 未満	14,000ポイント
小	0.2m ² 以上 1.6m ² 未満	8,000ポイント

2



最低使用量以上の断熱材を使用する改修について、施工部位ごとに1戸あたり下記のポイント数を発行

施工部位別ポイント数		
外壁	屋根・天井	床
120,000ポイント (60,000ポイント)	36,000ポイント (18,000ポイント)	60,000ポイント (30,000ポイント)

※（ ）部分断熱の場合の発行ポイント数。

3



5種類のエコ住宅設備のうち、3種類以上を設置する場合にポイントを発行

エコ住宅設備	ポイント数
太陽熱利用システム	24,000ポイント
節水型トイレ	24,000ポイント
高断熱浴槽	24,000ポイント
高効率給湯機	24,000ポイント
節湯水栓	3,000ポイント

①～③のいずれかとあわせて実施する
以下の改修工事も対象

④その他の工事等

- A. バリアフリー改修
(手すりの設置、段差解消、廊下幅等の拡張)
- B. エコ住宅設備の設置
- C. リフォーム瑕疵保険への加入
- D. 耐震改修

⑤既存住宅購入加算

既存住宅の購入に伴い、エコリフォームする場合に加算するポイントです。
他のエコリフォームで発行されるポイント合計数と同数です。
既存住宅購入加算の上限は10万ポイントとなります。

詳しくは国土交通省ホームページもしくはエヌテックまでご連絡下さい。

My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『現場進捗状況』

土井長元気



工務部の土井長です。現場の進歩状況です。中区のY様邸。内装工事が完了し、衛生器具と光冷暖房システム関係の器具や材料搬入を終えて、設備・電気

関係の器具取り付けを行っておりました。これから仕上げを行う為に色々な業者さんが現場入りします。2月末の完成に向けて着々と進んでおります。

安芸高田市のM様邸。岩田棟梁による内部造作やサッシ枠取り付け、内壁の杉板貼りと進んでいます。目地や通りや取り合いの施工がとても綺麗に仕上がっておりました。これから電気・設備と絡みながら、内部の間仕切りや天井と作業は進んでいきます。

佐伯区のN様邸です。N C Nから構造材が届き、土台敷が始まりました。土台敷のタイミングに合わせて電気屋さんが現場入りしています。天井配線ができない場所の配線は前もって作業を行います。1月末の上棟に向けて準備が進んでいます。

廿日市のN様邸。先日、天候にも恵まれて無事に上棟式を執り行いました。N様おめでとうございます。2月1日は上棟後の現場をお借りして構造見学会を開催します。



『講習会と京都の宿』

谷口 譲

設計担当の谷口です。先日、京都に2日間出張し、木造住宅の耐震診断講習会に参加してきました。既存の木造住宅に対し、どのような事前調査をして耐震診断を行うか、また具体的な耐震補強の方法を実施することでどう耐震性が向上するかなどを学んできました。

配布された3冊のテキストを元に、概略を説明するという講習内容だったので、今後はテキストの復習と実物件での活用が必要となります。会場は120名の定員に対し満席状態で、関心の高さを実感することができました。建物の耐震性は一つの目安として、昭和56年以前の旧耐震基準とそれ以降の新耐震基準のどちらでその建物が建設されたかで確認することができます。ただ、建築基準法は大きな震災を教訓としてこれまで度々改正されていますので、新耐震基準の建物でも将来起こりうる地震の規模によっては、倒壊する可能性も考えられます。設計する立場としては同然そうならない確立を上げる方法を考えますが、是非皆様も万が一の時に備えた対策(災害の種類に応じた緊急避難場所の確認や防災グッズの準備等々)を怠らないようお願い申し上げます。

さて、講習会当日は知人の紹介もあり、素敵な宿に宿泊することができました。

市川 里穂

設計担当の市川です。先日、渡部さんとPチ勉強会をしました。

テーマは『エアコンの選定の仕方』についてです。今後、お客様にエアコン設置のご相談を頂いた際に、その家の性能に見合った適切なエアコンをご提案できるようになるために、エアコン選定のための計算方法などを教えてもらいました。

そして後日、早速その成果を発揮することが出来ました。お客様からエアコン選定のご相談を頂きましたので、教えてもらった方法で計算してみました。渡部さんに質問しながらの作業になりましたが、教えてもらったことを実践することができ良かったです！

また、久しぶりに模型製作に取り組むことになりました。かっこいい模型をバッチリ作って完成した際にご紹介いたします！



『耐震の重要性について。』

渡部 良佑

設計担当の渡部です。先日ギャラリー様にてハツイエセミナーを行いました。今回のセミナーでもまずは耐震について。なぜ20年前の阪神淡路大震災で建物倒壊による被害が多かったのか？そして現在はどのように変わってきたのか？

現行の建築基準法(新耐震基準)では震度6強～7程度の揺れでも損傷はしても倒壊しないような構造基準となっています。ですがまだ旧耐震基準で建てられた建物は残っていますし、現行の基準でも一部は構造計算不要となっています。いつ起きるか分からぬのが天災の怖いところもあります。まだ課題は多く残っています。家づくりを考える上で、身を守る家というのが大前提です。今一度、家づくりに対しての考えにしっかりと入れて頂ければと思います。どこで家を建てる事になども、きっと役に立つ情報ばかりですので、是非ハツイエセミナーにご参加下さい。ご希望の日程での開催も可能となっております。



『エアコン選定』

市川 里穂

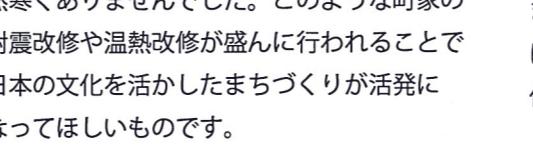
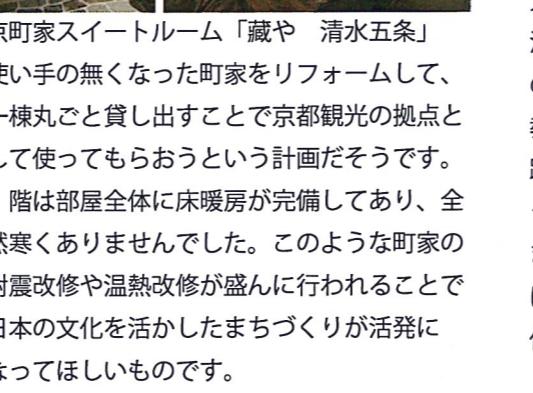
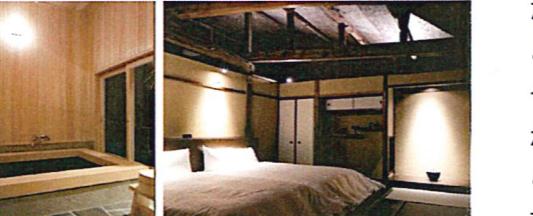
設計担当の市川です。先日、渡部さんとPチ勉強会をしました。

テーマは『エアコンの選定の仕方』についてです。今後、お客様にエアコン設置のご相談を頂いた際に、その家の性能に見合った適切なエアコンをご提案できるようになるために、エアコン選定のための計算方法などを教えてもらいました。

そして後日、早速その成果を発揮することが出来ました。お客様からエアコン選定のご相談を頂きましたので、教えてもらった方法で計算してみました。

渡部さんに質問しながらの作業になりましたが、教えてもらったことを実践することができ良かったです！

また、久しぶりに模型製作に取り組むことになりました。かっこいい模型をバッチリ作って完成した際にご紹介いたします！



今月のすてき、快適！

「冷えとり靴下」

寒い日が続きますね。家中の中は、いろいろと凌ぐ方法がありますが、勤務先や学校など自宅以外では、自分に都合の良い暖房ができません。もっとも冷える部分が「足」ではないでしょうか？人体の中で“首”と付く部分を温めるのが効果的と聞きますが、首、足首、手首ですね。中でも、足はもっとも冷える場所です。冷気は下へと下がる特徴があるからです。断熱気密性の低い空間で暖房すればするほど、冷たい空気は足元へとたまるため、頭は暖かくても足が冷たい！とのお悩みをお持ちの方も多いのではないかと思います。頭痛など体調まで悪くなるのがこの時期の悩みでもあります。

そこで、最近流行っている(らしい)のが、「冷えとり」です。

靴下を重ね履きする方法なのですが、2枚重ねる初級編から、4枚の上級編まであるようです。単に靴下を重ねるのではなく、「シルクや木綿」「5本指、先丸」

などを工夫して重ねるのがキモのようですね。

さすがに、いきなり4枚は・・・で、初級編の2枚からトライしてみたところ、おお、結構あったかい！終日足先が冷えることなく過ごせました。上級編の4枚に興味深々！今度チャレンジしてみようと思います。しかし、正直言ってオシャレではないので、ブーツなど足元が見えない工夫は必要かもしれませんね。冷え性にお悩みの方は初級編(2枚重ね)からおためしされてはいかがでしょう？



↓「冷えとりシリーズ掲載部分」
http://www.onmusubi.jp/hietori_top.html
初級編(2枚重ね)：シルク5本指+木綿先丸=1491円(税込)
上級編(4枚重ね)：シルク+シルク+シルク+木綿=3802円(税込)
中級編(3枚)もあります。

↓「温むすび」
<http://www.onmusubi.jp>
比較的お手頃価格の温めグッズ満載のお店です。オシャレとはいひ難いのですが、ぬくもりグッズに特化した点を高評価。5000円以上購入で送料無料。以下は送料300円。税込表示があり分かりやすい。

快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



「快適と安心③」

OMソーラーは、非常にマッチングが良かったのです。(←前回の終わり)

床暖房は、以前から「良いもの」とされていましたが、設備費もそうですが、光熱費がバカ高いらしいと言われ贅沢品である期間が長かったように思います。OMソーラーは、その床暖房が太陽熱で出来てしまふ、床下を通じて1階の隅々まで暖かく出来る、それに加え、運転中に外気を導入することで、暖房と換気が同時に行えます。

寒い時期に、暖房しつつ窓を開けずに換気が出来るわけです。大きな空間も太陽熱で床暖房をすることにより、吹き抜けやリビング階段を通じて暖かい空気が上昇し、行き渡り、吹き抜けがあつても、リビング階段でも太陽さえ出ていれば寒くない、が実

現出来たのです。丁度同じ頃、太陽光発電も広がり始めます。OMソーラーと太陽光発電。自然エネルギーが住宅に取り入れられ始めたきっかけとなり、より質の高い冷暖房(温熱環境)に対する認識も広がって行きました。エヌテックがOMソーラーに取り組んだのは1999年です。その後、より進化した太陽熱利用空気集熱式システムである「そよ風」が、誕生しました。車の世界では、世界初ハイブリッド車であるプリウスが発売され、その後熾烈な低燃費競争へと進みます。世の中は、徐々に「省エネルギー」の時代を迎えつつありました。そして記憶に新しい、2011年3月11日、「東日本大震災」が発生します。阪神淡路の時と最も違っていたのが、「津波」として「原子力発電所」の事故です。この大震災を契機に電力への危機感が急激に高まり、「省エネルギー」が誰にとっても明確な課題になりました。その数年前から、世界的な異常気象による地球温暖化の認知が広がり、特に夏の暑さは年々増すように感じられ、誰もが「熱中症」を対策するのが普通のことになりました。つづく。